

まちびと プレゼント & アンケート

PRESENT & QUESTIONNAIRE

「まちびと」秋号をお読みいただき、ありがとうございました。

これからもさらに充実した「まちびと」を作るために、たくさんのご感想・ご意見をお待ちしています。

PRESENT
A

1組
2名様



『フォレスタ』 コンサート in 町田

【日時】1月18日(土) 14:00開演
【会場】町田市民ホール

音楽大学および大学院で研鑽を積んだ優れた音楽家たち『フォレスタ』が、歌い継ぎ、語り継ぐ、たおやかな日本のこころをお届けします。
問い合わせ：町田市民ホール(042-728-4300)

PRESENT
B

3名様



日本代表で活躍する キヤノンイーグルス 選手直筆サイン

待ちに待ったワールドカップラグビー 2019™日本大会。町田市の小野路町を拠点にジャパンラグビートップリーグで戦うキヤノンイーグルス所属の、日本代表選手の直筆サインをプレゼント。

PRESENT
C

3名様



ワーカーズ・コレクティブ凡 お買物券1000円 木曾西工場直営店限定

名産品にも指定されているブルーベリーソースや安心・安全な素材で作ったジャムやシロップが人気のワーカーズ・コレクティブ凡(木曾西2-1-17)のお買物券。利用期限：2020年3月31日

ご応募は… 封書・ハガキで FAXで @ E-mailで 応募締切=2019年11月25日必着

Q1 「まちびと」秋号をご覧になっていかがでしたか?

- ① 良かった ② 普通 ③ 良くなかった
※理由()

Q2 「まちびと」をどこで入手されましたか?

- ① 町内会・自治会での回覧 ② 市の公共施設
③ その他()

Q3 おもしろかった記事を教えてください(複数回答可)

- ① 特集1(町田ブランド) ② 特集2(奈良 秀明)
③ 街を歩く～原町田～ ④ THEまち人 芝好園自治会
⑤ THEまち人 地域活動サポートオフィス ⑥ マチダdeグルメ
⑦ カイル・カードの商店街へGO! ⑧ Machibito-Snap
⑨ まちびと写真館 ⑩ プレゼント&アンケート ⑪ まちびとひろば

Q4 今回の記事で参加や申し込み、お出かけなど、実際に行動したくなった情報はありましたか?

- ①あった() ※Q3のリスト番号を記入 ②無かった

Q5 今号の「まちびと」へのご意見やご感想、今後取り上げてほしい記事などを教えてください

Q6 ご希望のプレゼント番号 → A・B・C

アンケートにお答えの上、奮ってご応募ください。ハガキの場合は氏名や住所等を表面に記載してください。E-mailの場合は、タイトルに「まちびと45号」とつけ、本文に答えや氏名を記載してお送りください。

〒194-0021 町田市中町1-17-11-3F
株式会社 VisionDesign まちびと編集部
FAX 042-711-7804
E-mail machibito@vision-design.biz

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。個人情報の管理について「まちびと」は、読者や利用者のプライバシーを尊重し、個人情報の管理に細心の注意を払い、厳重に取り扱います。※アンケートの内容は、誌面に掲載する場合がございます。

フリガナ お名前	年齢	歳
ご住所	都道府県	都市区
TEL	-	-
性別	男・女	ペンネーム (匿名ご希望の場合ご記入ください)
E-mail	@	

切り取り線(封書・FAXの方はこちらをお送りください)

切り取り線(ハガキの方はこちらを貼ってください)

まちびと写真館 其の十四

小田急銀座商店街(現町田一番街) 昭和40年頃



平成14年、JR町田駅と町田街道を結ぶ幅10mの原町田大通りができ、街は大きく姿を変えた。現在の商店街に、当時の姿を残す店はごく僅かだ。

撮影した場所
原町田6丁目



街と共に歩む、商店街

町田村(現本町田周辺)から独立して原町田ができたのは天正10(1582)年。その際に本町田の「二・七の市」を半分譲りうけたのが「二・六の市」の始まりだ。大勢の人が集まり、旅籠もできた街は、シルクロードの中継地としても賑わっていった。明治に入り横浜鉄道が開通すると市のない日にも人が訪れ、大正期には、古着や古道具を扱う「ボロ市」が仲見世商店街のあたりで行われるようになった。

戦時中の昭和19年、物資不足で「二・六の市」は閉鎖された。だが店主たちが奮闘し、商店会も立ち上がり、戦後はいち早く再興を遂げ賑わいを取り戻す。昭和20年代の後半には花火の打ち上げやパレード、漫才など趣向を凝らした余興に人々は熱狂した。その後、大型店の進出や駅前再開発計画等でどんどん街は様変わりしていく。昭和55年に小田急と国鉄の町田駅がつながり、個人店と大型店が共存する現在の商店街が形成された。

写真は昭和40年頃の町田急銀座商店街。幾度もの火災や再開発、大型店の進出など時代の流れの中で、形を変えた店、暖簾を守り続ける店。店の歴史は街の歴史でもある。